

三重県鋳工業生産及び生産者製品在庫の動き

1 概況

1 生産の動き

平成24年の県内鋳工業生産指数の年平均は108.5(平成22年=100)で(年指数については、原指数によります。以下同じ。)対前年比18.4%の上昇となりました。四半期ごとの推移についてみると(四半期別指数については、季節調整済指数によります。以下同じ。)1期112.0(対前期比20.0%増)、2期112.3(同0.3%増)、3期101.7(同9.4%減)、4期106.7(同4.9%増)となりました(表2、図5)。

これを業種別に対前年比で見ると、情報通信機械工業▲78.4%、化学工業▲8.4%、はん用機械工業▲4.5%、パルプ・紙・紙加工品工業▲3.3%、業務用機械工業▲3.3%、木材・木製品工業▲1.9%、電気機械工業▲1.9%、鉄鋼業▲1.4%、鋳業▲0.9%が低下となりましたが、それ以外の業種は上昇となりました。上昇した業種は大きい順に、輸送機械工業69.2%、電子部品・デバイス工業35.1%、プラスチック製品工業33.9%、その他製品工業24.8%、繊維工業17.3%、非鉄金属工業11.9%、家具工業9.9%、金属製品工業9.3%、生産用機械工業6.1%、食料品工業3.0%、石油・石炭製品工業1.5%、窯業・土石製品工業0.8%、ゴム製品工業0.4%となりました(表4)。

また、財別に対前年比で見ると、すべての財が上昇で大きい順に、その他用生産財75.8%、耐久消費財32.1%、鋳工業用生産財20.4%、非耐久消費財8.4%、建設財6.2%、資本財2.9%となりました(表5)。

2 生産者製品在庫の動き

平成24年の県内鋳工業生産者製品在庫指数(以下「在庫指数」とします。)の年平均は、128.4(平成22年=100)で、対前年比33.9%の上昇となりました。四半期ごとの推移についてみると、1期101.3(対前期比13.9%増)、2期115.9(同14.4%増)、3期136.4(同17.7%増)、4期160.1(同17.4%増)となりました(表3、図5)。

これを業種別に対前年比で見ると、その他製品工業▲17.1%、食料品工業▲8.0%、化学工業▲6.1%、窯業・土石製品工業▲3.6%、鋳業▲1.9%が低下となりましたが、それ以外の業種は上昇となりました。上昇した業種は大きい順に、電気機械工業(旧分類)93.3%、鉄鋼業90.9%、プラスチック製品工業78.9%、金属製品工業61.9%、輸送機械工業61.4%、家具工業35.1%、パルプ・紙・紙加工品工業31.9%、非鉄金属工業19.3%、石油・石炭製品工業18.2%、ゴム製品工業11.9%、繊維工業6.0%、木材・木製品工業4.4%、はん用・生産用・業務用機械工業2.0%となりました(表6)。

また、財別に対前年比で見ると、非耐久消費財▲0.9%が低下となりましたが、それ以外の財は上昇となりました。上昇した財は大きい順に、資本財112.8%、その他用生産財88.5%、耐久消費財78.8%、建設財7.7%、鋳工業用生産財7.6%となりました(表7)。